

【事例40】耳そうじ中の事故に注意！

【事例】4歳の子どもの耳そうじをしている時、急に子どもが動いたため、耳かき棒が奥に入ってしまった、耳の中に傷がついてしまった。（被害当事者：4歳女兒）

＜対処法＞① 子どもの耳そうじをするときには、動いたらケガをすることがある、と子どもに十分説明し、安定した姿勢・場所で行いましょう。

② 乳幼児は必ず大人のまねをします。乳幼児の手の届くところに耳かき棒や綿棒を出しっぱなしにしないように気をつけましょう。

③ 本来耳あかは、耳の奥からしだいに入り口の方の、よくみえるところに押し出されてくるものです。入口から1センチ以内の掃除にとどめるようにして下さい。

④ 耳そうじのケガは、後遺症が残る場合があります。トラブルが発生したら、直ちに医療機関で受診しましょう。